

未来の図書館 研究所
第5回
シンポジウム

図書館と レジリエンス

近年予想もしないような事態が頻繁に起きるようになって、レジリエンスが注目されています。レジリエンスとは、深刻な混乱に遭遇したとき、個人、組織、社会が健全な働きを回復する力です。人々やコミュニティを支えている私たちの図書館にもこの「適応能力」が期待されます。災害から図書館とコミュニティがどのように立ち直ったか、人々やコミュニティを日々どのように支えているかなどの事例を踏まえて、「図書館とレジリエンス」を考えます

参加費
無料

日時

2020年11月27日(金)13:30~16:30

参加方法

当日 Zoom での参加をご希望の方は、事前申し込みが必要です（定員になりしだい締切）。視聴のみでしたらどなたでもご覧いただけます、YouTube 未来の図書館 研究所チャンネル <<http://www.youtube.co.jp/channel/UCcHifmFAIlMiL3Gbjpeiz6g>>よりライブ配信をご覧ください。

申込方法

下記アドレス宛のメールまたは未来の図書館研究所 Web サイトの申込フォームよりお申し込みください。

お問合せ

株式会社 未来の図書館 研究所 info@miraitosyokan.jp Web サイト <http://www.miraitosyokan.jp>
〒113-0033 東京都文京区本郷 5-23-12 7 階
TEL 03-6673-7287 FAX 03-6772-4395



講演者・パネリスト

柴崎 悦子(しばさき・えつこ)氏
名取市図書館 館長

宮城県名取市生まれ。東北学院大学文学部史学科卒。1986年名取市に司書として採用され、市内小学校の図書館に勤務。2008年名取市図書館に異動。新図書館建設に向けて準備を開始した矢先、東日本大震災が発生。国内外からの支援を受け仮設図書室を建設。2013年5月より本格的なサービスを再開。2013年4月より現職。学校経験を活かし、学校図書館との連携支援に力を入れている。



講演者・パネリスト

三田 祐子(みた・ゆうこ)氏
鳥取県立図書館

鳥取県生まれ。図書館情報大学を卒業し、2002年7月に鳥取県に司書職として採用される。鳥取県立図書館に配属され、ビジネス支援サービス、レファレンスサービス、児童サービス、資料購入などを担当し、現在に至る。日本図書館協会認定司書第1130号。



コーディネーター

永田 治樹(ながた・はるき)
株式会社 未来の図書館 研究所 所長

名古屋大学附属図書館を振り出しに、国文学研究資料館、東京大学・金沢大学・北海道大学の図書館などに勤務後、1994年から筑波大学図書館情報メディア研究科、立教大学文学部等で教育・研究に携わる。専門領域は図書館経営。ISO TC46 / SC8の国内委員。近著に、永田治樹編著『図書館制度・経営論』日本図書館協会、2016。



▲ライブ配信はこちらから



UDトークによる字幕
配信を行います



主催：未来の図書館 研究所
The libraries of the future research, Inc.